

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2019年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。

2 最終エントリー確認手順

《別紙参照：【重要】2019年全日本実業団選手権 最終エントリーおよび800m以下の種目の当日番組編成実施・運用方法について》

(1) 当大会は、リレー種目及び800m以下のトラック種目の予選及びタイムレース決勝を対象に、欠場者を除いた競技者により、競技実施当日に競技の番組編成を行う。

※競技者受付は全種目実施。競技開始2時間前までに完了すること。

(2) 最終エントリーの確定は、競技開始2時間前までの欠場届により行う（全種目対象）。

※下記対象種目においては、最終エントリーリストから当日番組編成を実施する。

対象種目：男女100m・男女200m・男女400m・男女800m・男子110mH・女子100mH・

男女400mH・男女4×100mR・男子4×400mR・（ミックス）4×400mR、（全16種目）

※対象外の種目に関しても、欠場する場合は必ず「欠場届」を提出すること

締切時間：対象種目の決勝及び予選・タイムレース決勝の第1組競技開始2時間前まで

実施場所：競技者受付（ナンバーカードの受取等）、欠場届の提出先（メールまたはT I C）

(3) 欠場届について。

本大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出する（メールまたはT I C）

【欠場届の提出方法について】※全種目対象

① 9/19（木）までに届ける場合はメールにて受け付ける。

② 大会期間中については、メールもしくはT I Cにて受け付ける

※指定のメールアドレス(jita2@n07.itscom.net)宛に「欠場届」を添付して提出する。

※メールタイトルを、【2019選手権欠場届_チーム名称_チーム連絡責任者氏名】とすること。

③ 提出日時は、大会申込後から大会当日の各種目競技開始2時間前までとする。

※提出期限以降もケガ等で止むを得ず欠場する場合も、速やかに提出すること。

(4) 確定した当日番組編成は、競技開始1時間前までにT I C及び、第1ゲート外側の記録ボードの2箇所に掲示し、日本実業団陸上競技連合ホームページ（速報サイト）にも反映する。

【要注意：全種目対象】

● 競技者受付及びT I C受付開始時間は、以下の通りとする。

・9/20（金）10:00～ 9/21（土）7:00～ 9/22（日）7:00～

● 欠場が確定している場合は、期日にかかわらず速やかに「欠場届」を提出すること。

・最終エントリー締切以降の止むを得ない事情（ケガ・病気等）で欠場する場合も提出

・次ラウンド進出後の欠場の場合も、速やかに提出

● 「欠場届」の提出なく欠場した場合は、来年度の本大会に出場を認めない処置を講ずることがある

3 練習場および練習について

(1) 練習は「練習会場に関する注意事項」を確認の上、危険防止に十分注意し、競技役員の指示に従うこと。

(2) ヤンマーフィールド長居【サブ】は、投てき種目が始まると練習場所を制限する。詳細は「練習に関する注意事項」を参照。

(3) 投てき種目の練習は、危険をとまなうので、各種目とも競技開始前に競技役員の指示に従うこと。

4 招集について

(1) 招集所は、ヤンマースタジアム長居【メイン】マラソングート（第1曲走路中央付近）に設ける。ヤンマーフィールド長居【サブ】で行われる競技についても同場所とする。

(2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

(3) 招集方法については、次の通りである。

① 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼、持ち物の確認（競技規則第143条、第144条）商標等の点検を受け、競技役員の誘導により競技場に入る。競技場内に持ち込めない物

は、競技者係で預かり、T I Cにて返却する。

- ②トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を2枚競技者係から受け取る。
- ③2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「2種目同時出場届」に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出する。
- ④リレーに出場するチームは、所定のリレーオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに、招集所の競技者係に提出する。提出後の変更は負傷等の場合を除き認めない。
- ⑤代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
- ⑥男女の棒高跳はヤンマースタジアム長居【メイン】の競技実施場所で招集を行う。
(ピットは、Bゾーンに設置する)

5 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、配布された大きさのままでユニフォームの胸部・背部につける。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識2枚(招集所で配布)を両腰につける。
- (3) 5000m、10000m、10000m 競歩における周回のトランスポンダー付き腰ナンバー標識について
・周回のトランスポンダー付き腰ナンバー標識は招集所で配布し、左腰につける。
トランスポンダー付き腰ナンバー標識は、レース終了後にフィニッシュ付近にて回収する。

6 競技について

- (1) トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
投てき競技(砲丸投を除く)および棒高跳は光波距離計測装置を使用する。
- (2) 短距離種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。
スタート・インフォメーション・システムに不具合が生じた場合は、スタート審判長の判断によりスタートをやり直す場合がある。
- (3) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順で行う。
- (4) 準決勝・決勝の組合わせおよびレーン順は、主催者が公正に決定しその結果を掲示する。
- (5) トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で100分の1秒単位で同記録があった場合、1000分の1秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
- (7) 競歩競技について
 - ①男女10000m競歩は、混合レースにて競技規則第230条4(a)を適用し、競技を実施する。
 - ②残り100mからフィニッシュまでの間で競技者の歩型が第230条2に明らかに反する時、競歩審判員主任はその競技者にそれまでに出示されたレッドカードの有無に拘わらずその競技者を主任単独で失格にする権限をもつ。
 - ③男女共に、58分を過ぎて新たな周回には入れない。
- (8) 三段跳の踏切板は、男子13m・女子10mの地点とする。
- (9) 4×100mRの2~4走者のマークは主催者が用意したものを使用すること。また、競技終了後の回収は各チームで責任をもって行うこと。
- (10) フィールド競技の公式練習は原則2回とし、全て競技役員の指示に従う。競技開始までに時間がある場合は3回目以後の練習もありうる。ただし、投てき公式練習は1回のみとする。
- (11) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
 - ① 荒天、その他特別な状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。
 - ② 棒高跳の公式練習は、任意の高さおよびアップライトの位置(現地で担当競技役員に申告する)で試技順に2回行う。ゴムバーの高さを正規の高さに設定して行う。

種目	練習	バーの上げ方	
男子走高跳	1m90	1m95～2m10 まで 5cm 刻み	以後 3cm 刻み
	2m00		
女子走高跳	1m50	1m55～1m70 まで 5cm 刻み	以後 3cm 刻み
	1m65		
男子棒高跳	任意の高さ	4m60～5m30 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み
女子棒高跳	任意の高さ	3m30～3m90 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み

(12) 跳躍競技で使用するピットは以下のとおりとする。

	男子	女子
2ピット	走幅跳（予選）、走高跳、三段跳、棒高跳	三段跳
1ピット	走幅跳（決勝）	走幅跳、走高跳、棒高跳

- ① 男子三段跳について、トップ8確定後の4回目以降の試技はピットの変更は行わない。
- ② 男子走高跳、男子棒高跳は以下にて運営する。
 - i 資格記録順に組分けし行う。
 - ii 試技時間は先行する高さの残り人数によって決定する。

	4人以上	2～3人	1人	連続試技
走高跳	1分	1分30秒	3分	2分
棒高跳	1分	2分	5分	3分

(13) 男子走幅跳および男子投てき競技において予選ラウンドを実施する場合は、予選通過記録は以下のとおりとする。なお、投てき競技の予選ラウンドは、ヤンマーフィールド長居で実施する。決勝はヤンマースタジアム長居にて、少なくとも12人で行う。

種目	男子
走幅跳	<u>7 m 5 0</u>
砲丸投	<u>1 6 m 5 0</u>
円盤投	<u>5 0 m 0 0</u>
ハンマー投	<u>6 2 m 0 0</u>
やり投	<u>7 3 m 0 0</u>

※アンダーラインは、昨年から変更記録

7 コーチングエリアの設置について

- (1) フィールド競技については、コーチングエリアを設置する。
- (2) 競技中の選手に対するアドバイスは、コーチングエリア内で行うこと。

8 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場は、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技に出場する選手は、ヤンマースタジアム長居マラソンゲート（第1曲走路中央付近）に設置する招集所から競技場内に入場する。
- (3) ヤンマースタジアム長居【メイン】での競技が終了した選手は、ヤンマースタジアム長居【メイン】第1ゲート（フィニッシュ付近）に設置するミックスゾーンを通過して退場する。（招集所からの退場は不可）
- (4) 表彰対象者およびドーピング検査対象者については、競技役員の指示に従う。
- (5) ヤンマースタジアム長居【メイン】バックスタンド下室内練習場を使用する場合は、IDを着用の上、第2ゲート（1500mスタート付近）から入退場する。

9 競技用靴・用器具について

- (1) 競技用靴のスパイクは11本以内で、長さ9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は12mm以下とする。また、スパイクの先端近くで少なくとも長さの半分以上は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- (2) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用器具は、各人所有のものを検査の上使用することができる。投てき用器具の検査受付は、各競技種目の競技開始時刻90分前までにTICに持参すること。出場する選手もしくは代理人が「投てき用器具検査申請書」と共に直接持参すること。検査後の用器具は、主催者預りとし、その用器具は全競技者が使用できるものとする。返却は競技場所で預かり書と引換に行う。
棒高跳用ポールについては、棒高跳ピットにて担当競技役員が検査を行う。
- (3) フィールド競技で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。

10 抗議・上訴について

- (1) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板で正式発表されてから、競技規則第146条2及び第146条2[国内]に定められた時間内にその競技者または代理人がTICに申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (2) さらに、審判長の裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通して Jury に文書で申し出る。(競技規則第146条7)

11 ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストはJADAおよびJAAFの規則に従い実施するので、係員より指名された競技者はテストを受検すること。

- (1) 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
- (2) TUE申請
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

12 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、第1コーナー付近で行う。
- (2) 1位から3位の入賞者は競技終了後直ちに役員の指示に従い第1コーナー付近に集合すること。
- (3) 各種目の優勝者には選手権章、3位までの入賞者には副賞を授与する。
賞状は表彰終了後、第1ゲート内の表彰係にて授与する。
- (4) 団体総合6位までの団体および優秀選手の表彰は閉会式で行う。総合得点が同点の場合、優勝種目の数により決定する。なお、優勝種目が同数の場合、2位の数により決定する。以下これに準ずる。

13 その他

- (1) IDコントロールを実施するので、配布したIDカードは常に携帯する。
「監督・コーチ」のIDカード配布上限枚数については、競技者1名につき1枚、2名~3名は2枚、4名以上は3枚以内とする。リレー種目については1チームにつき1枚とする。

- (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (3) 更衣室は、ヤンマースタジアム長居【メイン】、ヤンマーフィールド長居【サブ】メインスタンド1階に設ける。
- (4) 記録はその都度発表すると共に、ヤンマースタジアム長居【メイン】メインスタンド第1ゲート外側に記録ボードを設け掲示する。
- (5) 応援旗・部旗・横幕・幟・小旗については、スタンド最上段のフェンス、中央手すりのみ可とし、競技場最前列は全面禁止とする。ただし、競技運営などに支障がある場合は、撤去または移設を指示する場合がある。
- (6) 応援旗・部旗・横幕・幟・小旗等は、毎日撤去して持ち帰ること。
- (7) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (8) 遺失物類についてはT I Cで管理する。
- (9) 撮影禁止区域を設ける。場所についてはプログラムの規制区域図を参照のこと。
- (10) 応急処置を必要とする事故が発生したときは、救護室で処置を受けることができる。
- (11) スタンドの応援エリアは、コーチ席や撮影禁止区域、報道エリアなどテープで制限した範囲以外の席とする。ただし、競歩、ジュニア種目を除く、5000m以上の競技種目の応援については、第2コーナーから第4コーナーまでのバックストレッチ側6レーンから外側グラウンド内での応援を認める。但し跳躍競技が行っている場合は認めない。応援者は、当該競技開始5分前より第4ゲートからグラウンド内に入ること。また、当該競技終了後は速やかに退場すること。その場合、ハイヒールなどグラウンドを傷つける可能性がある履物は禁ずる。

(12) ゴミについては、分別してゴミ箱に投棄すること。

- (13) 「やり」の返送のみ着払いに限り中央正面玄関横「実業団連合事務局」で対応する。
- (14) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用することがありますのでご了承ください。
- (15) 提出書類等については下記の通り行う。(各用紙はT I Cで配布する)

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	当競技注意事項の「2 エントリー確認手順について」の「(3)欠場届け提出手順・日程について」による	
2	2種目同時出場届	競技者係	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	競技者係	第1組招集完了1時間前まで
4	用器具検査申請書	T I C	各競技種目の競技開始時刻90分前まで
5	抗議申立て(口頭)	T I Cを経由し審判長へ	正式記録発表後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
6	上訴申立書(文書)	総務員(T I C・抗議)	審判長裁定後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
7	プログラム訂正届	競技者受付	9月20日は14時30分まで
			9月21日・22日は8時45分まで

- (16) 開門時刻及び閉門時刻は次のとおりとする。

期日	開門時刻		閉門時刻	
	ヤンマースタジアム【メイン】	ヤンマーフィールド【サブ】	ヤンマースタジアム【メイン】	ヤンマーフィールド【サブ】
9月19日(木)	12時00分	12時00分	18時00分	16時00分
9月20日(金)	10時00分	10時00分	21時30分	21時00分
9月21日(土)	8時00分	8時00分	21時00分	20時30分
9月22日(日)	7時30分	7時30分	20時00分	18時30分

練習会場に関する注意事項

- 1 練習会場および使用時間は、下記の通りとする。
- 2 入退場時には、必ずIDカードを提示すること。
- 3 投てき種目の予選の競技開始30分前から競技終了時間までに限り3コーナーから4コーナの芝生観客席およびバックスタンドでの応援を認める。
- 4 練習は、競技役員の手配のもと、事故防止に十分配慮して行うこと。
- 5 練習に使用する用具は、原則として各自持参すること。(スタブロー、ハードルは準備します)
- 6 スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳・やり投げのスパイクについては、12mm以下とする。
- 7 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。
 - ヤンマースタジアム長居：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは禁止する）
 - ・ 1～3レーン：中・長距離・競歩種目
 - ・ 4～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
 - ・ 8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
 - ・ 8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する（ホームストレートは除く）。
 - ヤンマーフィールド長居：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは禁止する）
 - ・ 1～3レーン：中・長距離・競歩種目
 - ・ 4～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
 - ・ 8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
 - ・ 8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する。（ホームストレートは除く）
- ※ 9/21(土)の小学生4×100mRウォーミングアップは、バックスタンド裏練習走路を利用
- ※ 9/22(日)の中学生4×100mRウォーミングアップは、9時30分～12時30分の間のみ第1曲走路～バックストレートの2レーンから9レーンまたはバックスタンド裏練習走路を利用
- 8 室内練習場のウォーミングアップは、反時計廻りの一方通行とする。

■練習会場の使用時間・日程

会場名	競技種目	9月19日 (木)	9月20日 (金)	9月21日 (土)	9月22日 (日)	
ヤンマースタジアム 【メイン】 9レーン	トラック種目	12:00~18:00	10:00~14:00	×	7:30~9:00	
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	12:00~18:00	10:00~14:00	×	×	
	棒高跳※1	×	×	女:9:30~ 男:13:30~	×	
ヤンマーフィールド 【サブ】 9レーン	トラック種目	×	14:00~21:00 ※2	8:00~20:30 ※2 ※3	7:30~18:30 ※4	
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	×	14:00~18:00	8:00~20:00	8:00~16:00	
	砲丸投	予選練習 (予選時刻)	×	11:00~14:00	10:30~12:00 (男 11:00)	×
		決勝時刻	—	—	(女 10:00)	(男 16:00)
	やり投	予選練習 (予選時刻)	×	11:00~14:00	12:30~14:00 (男 13:00)	×
		決勝時刻	—	—	(女 12:00)	(男 14:30)
	円盤投※2	予選練習 (予選時刻)	14:00~16:00	17:30~19:00 (男 18:00)	×	×
		決勝時刻	—	—	(男 17:00)	(女 9:30)
	ハンマー投 ※2	予選練習 (予選時刻)	12:00~13:50	15:30~17:00 (男 16:00)	×	×
		決勝時刻	—	—	(男 15:10)	(女 11:30)
ヤンマースタジアム 【メイン】 室内練習場	トラック・ハードル・W-UP	12:00~18:00 (雨天の場合 のみ使用可)	10:00~19:00	8:00~20:00	8:00~16:00	

●練習可能な競技種目

	ヤンマースタジアム長居【メイン】	ヤンマーフィールド長居【サブ】
9月19日(木)		ハンマー投・円盤投
9月20日(金)	トラック種目(ハードル含む) 走幅跳・三段跳・走高跳	砲丸投・やり投 トラック種目(ハードル含む) 走幅跳・三段跳・走高跳
9月21日(土)	全ての種目練習不可	トラック種目(ハードル含む)
9月22日(日)	トラック種目(ハードル除く)	走幅跳・三段跳・走高跳

※使用時間は「練習会場の使用時間・日程」を参照すること。

※1 男女の棒高跳は主競技場での練習に引き続き正式競技を開始する。

※2 ヤンマーフィールド長居【サブ】にて投てき種目の予選を実施する以下の時間帯はトラック練習を規制する。

- ・9月20日(金) 15時30分~19時00分(2コーナーから3コーナー)
- ・9月21日(土) 10時30分~14時30分(第2曲走路)

※3 小学生4×100mRのウォーミングアップはヤンマーフィールド長居【サブ】バックスタンド裏練習走路を利用する。

※4 ヤンマーフィールド長居【サブ】にてパラ種目車いす1500mのウォーミングアップを行う以下の時間はトラック1レーンから2レーンの使用を禁止する。

9月21日(土) 12時15分~12時45分

※5 中学生4×100mRのウォーミングアップを行う以下の時間はトラック第1曲走路からバックストレートの2レーン以降の使用を禁止する。

9月22日(日) 9時30分~12時30分